



アイフル通信

第45期 中間報告 2021.4.1~2021.9.30

Vol.51

December 2021

アイフル株式会社

証券コード 8515

経営理念

誠実な企業活動を通じて、 社会より支持を得る

経営理念を具現化した、 VISION/MISSION/VALUEを設定

アイフルグループでは、変わる事の無い根幹を成す考え方として、「誠実な企業活動を通じて、社会より支持を得る」を経営理念として掲げておりましたが、2021年4月、理念体系を再構築し、時代に即した具体的な達成目標として「VISION/MISSION/VALUE」を設計しました。

VISION

For Colorful Life.

自分の色が輝く社会に。



生活にも仕事にも、自分らしさを。アイフルはひとりひとりの彩りで、社会をもっと輝かせていきたいと思います。
あらゆる人が、自分らしくいられる未来を想像していくために。
私たちは、その人らしい色を大切にします。

経営テーマ

環境変化に応じた組織・制度の変革と
デジタル技術の活用により、
IT金融グループとして成長を遂げる

MISSION



お客様の期待を越えよう。

Go beyond.

常にお客様の視点に立ち、スピーディーかつ全力でお客様の期待を越え続ける。

- お客様を理解する。
- お客様側に立って考える。
- 先回りして提案する。



より良い明日を作ろう。

Step forward.

日々改善を重ねていくことで、多くの人々の幸せな明日に貢献する。

- あらゆる人の幸せな明日を創る。
- 改善する努力を継続する。



個性を認めあおう。

Be unique.

お互いの個性を尊重しあいながら、多種多様の価値を創出し続ける。

- 個性を発揮する。
- 互いを認めあう。

VALUE



[誠実]

Be honest.

仲間やルールを裏切らない



[信頼]

Build relationship.

まず相手を信じること



[努力]

Try harder.

持てる力を100%以上出すこと



[感恩]

Be grateful.

あらゆる先に感謝・敬意を払うこと

- アイフルグループが100年企業、更にその先も社会から支持され続けるために、これまで以上に「誠実な企業活動」を行い、「新たなリーダーとそれを支える社員の努力と結束力」で実現する
- 今後は、これまでの縮退期に遅れが生じた能力評価・人員配置の適正化と組織体制の合理化を加速させるとともに、技術革新による変革と創造を実践する
- 変化する社会的ニーズに対応できる安全性・収益性・成長性の高いグループへと生まれ変わり、持続可能な発展への貢献を果たす

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年4月以降、断続的な緊急事態宣言により、一部業種においては大きな影響が見られましたが、当社業績における影響は軽微に留まりました。

また、新型コロナウイルス感染症による外出自粛や行動制限に起因する生活様式の変化により、消費者のデジタル活用は一気に加速しましたが、当社においてはお客様の利便性向上に向けた申込フォームの迅速な改修対応など、従来よりデジタル分野に注力していたため、新規申込件数、獲得件数は前年同期比で大幅に増加しております。

今後におきましては、経営課題の一つである利息返還請求への対応を行いつつ、アイフルの認知度を活かした効果的な広告・宣伝の投下や、様々なグループ商材の販売により、グループ全体で営業アセットの拡大を図ってまいります。

経営戦略

当社グループは、「誠実な企業活動を通じて、社会より支持を得る」を経営理念として掲げ、お客様の健全な消費活動や事業活動のサポートを通じて経済社会に貢献することを使命としております。

また、今後を見据えた方針として、「IT金融グループとしての成長」を掲げており、デジタル、データ分析、デザインの3分野において、専門知識を持った人員の採用および育成といった「IT化に向けた人材戦略の強化」を進めております。また、各分野における内製化を行っており、「コスト削減」「対応スピード向上」を図っております。

今後、10年20年先を見据え、組織・制度の適正化と合理化を加速させるとともに、技術革新による変革と創造を実践することで、変化する社会的ニーズに対応できる「安全性」「収益性」「成長性」の高いグループへと生まれ変わってまいります。

2022年3月期第2四半期の業績について

営業収益については、信用保証収益ならびに、その他に含まれる償却債権取立益の増加等により、648億円（前年同期比2.2%増）となりました。

また、営業費用においては、資金需要の回復に伴う宣伝関連費用の増加等により、549億円（同1.5%増）となりました。

以上の結果、営業利益は99億円（同5.9%増）、経常利益は98億円（同5.0%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、非支配株主に帰属する四半期純利益1億円を計上した結果、100億円（同2.3%増）となりました。

2022年3月期の計画について

2022年3月期の連結業績予想は、営業収益1,318億円（前期比3.4%増）、営業費用1,077億円（同2.0%減）を見込んでおります。この結果、営業利益は241億円、経常利益は243億円、親会社株主に帰属する当期純利益は231億円を計画しております。

最後に

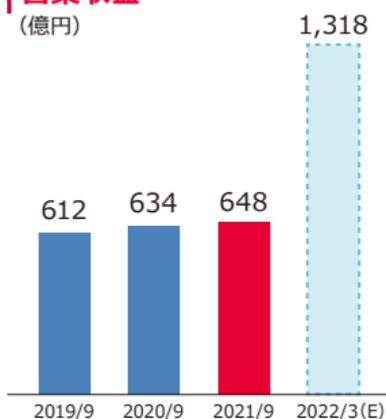
新型コロナウイルス感染症の再拡大や緊急事態宣言の再発令等、引き続き注視が必要な状況が続いておりますが、当社においては「安全性」をより高めつつ、経済活動の回復に伴う資金需要を取り込み、引き続き「収益性、効率性」の向上および「高い成長率」を目指してまいります。今後も全てのステークホルダーの皆様の期待にお応えできるよう、全力を尽くしてまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2021年12月
アイフル株式会社 代表取締役社長
福田光秀

連結業績ハイライト

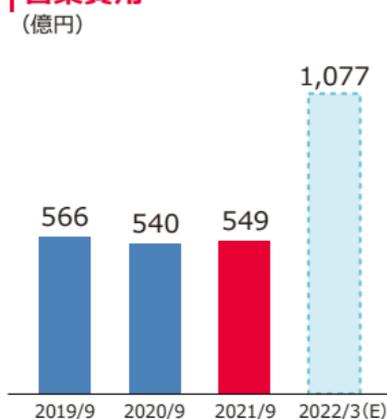
営業収益

(億円)



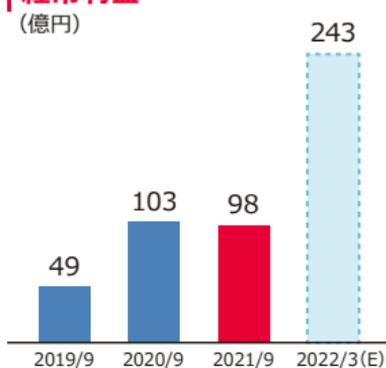
営業費用

(億円)



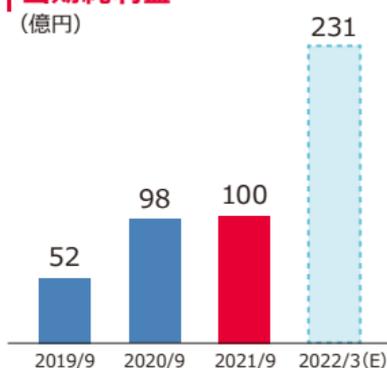
経常利益

(億円)



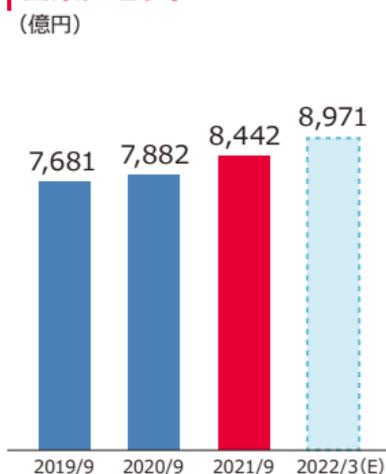
当期純利益

(億円)



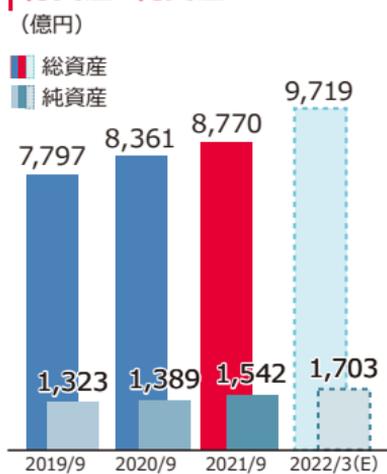
営業アセット

(億円)

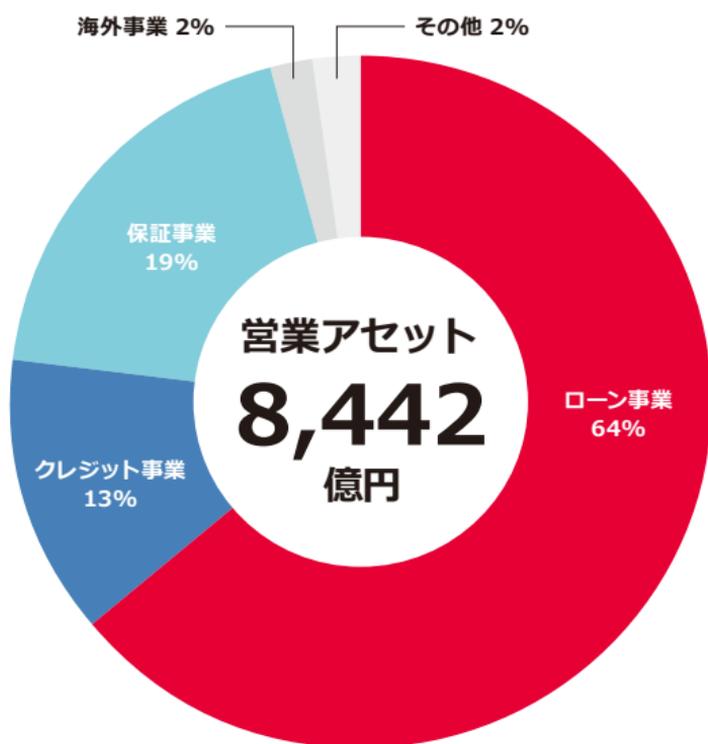


総資産・純資産

(億円)



事業別概要



営業アセット

主力の無担保ローンおよび信用保証事業の残高成長により前年同期比7%増の8,442億円となりました。

ローン事業(国内)

ワクチン接種の普及により消費活動は緩やかに回復しており、国内の営業貸付金残高は前年同期比3%増の5,403億円となりました。

クレジット事業

アイフルギャランティーにおいて、新規加盟店の開拓ならびに買上が順調に推移し、割賦売掛金残高は前年同期比4%増の1,085億円となりました。

信用保証事業

おまとめローンを中心とした証書貸付(前年同期比220億円増)が牽引し、前年同期比23%増の1,594億円となりました。

海外事業

タイ王国のAIRA & AIFUL Public Company Limitedにおきましては、債権ポートフォリオの良質化を図るため、新スコアリングシステムを導入し優良顧客の獲得に取り組み、営業貸付金残高は前年同期比1%増の206億円となりました。

ローン事業に依らない安定的な収益確保を目的とし、保証事業等のフィービジネスやクレジット事業の強化など金融事業の多角化を目指します。

ローン事業(国内)

5,403 億円 (前年同期比+3%)

主要数値

無担保ローン : **4,675** 億円 : (前年同期比+4%)

事業者ローン : **558** 億円 : (前年同期比+5%)

クレジット事業

1,085 億円 (前年同期比+4%)

主要数値

買上実績 : **3,383** 億円 : (前年同期比+7%)

割賦売掛金残高 : **1,085** 億円 : (前年同期比+4%)

信用保証事業

1,594 億円 (前年同期比+23%)

主要数値

個人向け保証残高 : **1,346** 億円 : (前年同期比+20%)

事業者向け保証残高 : **247** 億円 : (前年同期比+42%)

海外事業

206 億円 (前年同期比+3%)

主要数値

口座数 : **321** 千件 : (前年同期比-0.2%)

貸付残高 : **206** 億円 : (前年同期比+1%)

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

[資産の部]	前期末 (2021年3月31日)	当第2四半期末 (2021年9月30日)
流動資産	809,712	823,339
現金及び預金	40,950	37,075
① 営業貸付金	516,340	522,431
② 割賦売掛金	101,719	101,752
営業投資有価証券	1,701	1,800
③ 支払承諾見返	170,553	184,266
買取債権	3,173	5,150
その他	33,473	31,860
④ 貸倒引当金	△ 58,201	△ 60,997
固定資産	53,642	53,669
有形固定資産	17,765	17,218
無形固定資産	5,306	6,003
投資その他の資産	30,570	30,447
資産合計	863,354	877,009

(注) その他は1円桁まで足した数値を記載しております。

① 営業貸付金

ローン事業の無担保ローンの増加を主な要因として、会計ベースの営業貸付金残高は前期末比1.2%増の5,224億円となりました。なお、流動化による調達のため、営業貸付金の一部をオフバランスとしております。

② 割賦売掛金

アイフルギャランティーにおいて、新規加盟店の開拓ならびに買上が順調に推移した結果、会計ベースの割賦売掛金残高は前期末比0.03%増の1,017億円となりました。

③ 支払承諾見返

信用保証事業が順調に推移した結果、オフバランスとした営業貸付金(流動化債権)に対する保証を含めた会計ベースの支払承諾見返残高は前期末比8%増の1,842億円となりました。

④ 貸倒引当金

当第2四半期において、貸倒損失の発生分163億円(うち利息返還にかかる債権放棄は4億円)を引当金から取り崩した一方、192億円の繰入を行った結果、貸倒引当金

(単位：百万円)

	前期末 (2021年3月31日)	当第2四半期末 (2021年9月30日)
[負債の部]		
流動負債	499,596	501,496
支払手形及び買掛金	38,265	35,534
支払承諾	170,553	184,266
⑤ 短期借入金	100,750	82,815
1年内償還予定の社債	15,075	15,000
1年内返済予定の長期借入金	146,136	154,961
その他	28,815	28,918
固定負債	216,065	221,305
⑤ 社債	15,000	20,000
長期借入金	180,677	185,513
⑥ 利息返還損失引当金	12,913	8,335
その他	7,474	7,456
負債合計	715,662	722,801
[純資産の部]		
株主資本	143,536	150,134
資本金	94,028	94,028
資本剰余金	13,948	13,948
利益剰余金	38,669	45,267
自己株式	△3,110	△3,110
その他の包括利益累計額合計	2,019	1,828
新株予約権	-	-
非支配株主持分	2,136	2,245
⑦ 純資産合計	147,692	154,208
負債純資産合計	863,354	877,009

は前期末比4.8%増の609億円となりました。なお、利息返還にかかる債権放棄の引当金は、前期末比16.9%減の22億円となり、利息返還請求以外の貸倒引当金は、前期末比5.9%増の587億円となりました。

⑤ 有利子負債

金融機関からの借入や公募社債の発行など、資金調達の多様化を進めた結果、有利子負債は前期末比0.3%増の5,125億円(オフバランスした流動化による調達を含む)となりました。

⑥ 利息返還損失引当金

利息返還損失引当金45億円を引当金から取り崩したため、利息返還損失引当金残高は83億円となりました。なお、利息返還にかかる債権放棄の引当金22億円と合わせて、利息返還関連損失の引当金総額は前期末比32.2%減の106億円となりました。

⑦ 純資産

親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことを主な要因として前期末比4.4%増の1,542億円となりました。

連結損益計算書(要旨)

	前第2四半期 累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
⑧ 営業収益	63,462	64,837
営業貸付金利息	37,066	37,523
包括信用購入あっせん収益	9,124	8,973
信用保証収益	7,400	7,774
その他の営業収益	9,871	10,566
⑨ 営業費用	54,084	54,907
金融費用	3,632	3,572
貸倒関連費用	19,684	19,208
その他の営業費用	30,767	32,126
人件費	8,439	8,399
宣伝関連費用	4,163	6,804
広告宣伝費	1,304	5,321
販売促進費	2,859	1,483
⑩ 営業利益	9,378	9,930
営業外収益	1,093	292
営業外費用	98	366
⑩ 経常利益	10,373	9,856
特別利益	-	-
特別損失	91	-
税金等調整前当期純利益	10,281	9,856
法人税、住民税及び事業税等	1,360	362
法人税等調整額	△ 712	△ 654
当期純利益	9,633	10,148
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 178	106
⑪ 親会社株主に帰属する当期純利益	9,812	10,042

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

⑧ 営業収益

信用保証収益ならびに、その他に含まれる償却債権取立益の増加等により、前年同期比2.2%増の648億円となりました。

⑨ 営業費用

資金需要の回復に伴う宣伝関連費用の増加等により前年同期比1.5%増の549億円となりました。

⑩ 営業利益・経常利益

以上の結果、営業利益は前年同期比5.9%増の99億円、経常利益は前年同期比5.0%減の98億円となりました。

⑪ 親会社株主に帰属する当期純利益

非支配株主に帰属する四半期純利益1億円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比2.3%増の100億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
⑫ 営業活動による キャッシュ・フロー	29,401	△ 1,121
⑬ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 7,408	△ 2,141
⑭ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 28,619	△ 425
現金及び現金同等物に係る 換算差額	133	△ 18
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 6,492	△ 3,708
現金及び現金同等物の 期首残高	43,520	35,945
現金及び現金同等物の 期末残高	37,028	32,237

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

⑫ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは営業貸付金などの増加による資金の減少などにより11億円(前年同期は294億円の収入)の資金を使用しております。

⑬ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは無形固定資産の取得による支出などにより21億円(同71.1%減)の資金を使用しております。

⑭ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の返済により、4億円(同98.5%減)の資金を使用しております。

E nvironment

エネルギー使用量および温室効果ガス排出量の管理

エネルギー使用量や温室効果ガス排出量を管理し、クールビズ・ウォームビズや照明のLED化等の活動を通じて削減を図っております。

<エネルギー使用量>

年度	前年比(%)
2018	98.5
2019	110.8
2020	63.6

<温室効果ガス排出量>

年度	t-CO ₂
2018	7,047
2019	6,863
2020	4,205

S ocial

クレジットカードを通じた社会貢献

①社会貢献カード

ライフカードは社会貢献型クレジットカードを発行し、収益の一部を提携団体やNPO法人に寄付しています。

	2018年度	2019年度	2020年度
寄付総額(円)	13,635,275	13,241,666	12,739,304

②チャリティーコース

ポイントプログラムにチャリティーコースを設け、会員様からのポイントによる寄付も受け付けています。

③地域社会への貢献

武蔵小山商店街パルムと提携し、プリペイド機能を搭載したカードを発行しています。これにより、武蔵小山商店街を利用するお客様の利便性向上や地域経済の活性化を目指しています。



PALM POINT&MONEY CARD



PALM CARD



Governance

外部通報窓口の設置

公益通報者保護法その他関係法令の主旨に則り、社内通報規定を策定し、HPに通報窓口を設置しております。



コンプライアンス教育の実施

各種社内規程や法令への知識を深めるため、毎年全社員(派遣・契約社員含む)に向けてコンプライアンスデー勉強会を開催。今期上期は3回実施。



診療報酬担保ローン

新型コロナウイルスや少子高齢化などの問題により、医療・介護等ヘルスケア業界に対する社会的重要性は高まりつつあります。この環境下、人件費等の運転資金、事業の拡大資金、税金や社会保険料の支払い等、多様に在る資金ニーズに対して柔軟なサポートを行うべく、ヘルスケア業界専門の金融サービス会社を設立しました。



ダイバーシティ

アイフルグループは女性活躍推進のための行動計画を策定し、2022年までに女性社員比率40%以上及び役職者の増員を目指しています。また、障害者雇用率については2.4%を達成しています。

<進捗状況(計画期間:2019年4月~2022年3月31日)>

数値目標	実績	対象期間
1. (2022年3月期)正社員の採用に占める女性割合を40%以上とする ...直近1年間の実績40%	36%	2019年4月1日~ 2021年3月31日
2. (2022年3月期)女性の役職者数を 2019年3月期比30%増加する	17%	2019年4月1日~ 2021年3月31日
女性管理職の人数を2019年3月比2倍 にする	2.0倍	2019年4月1日~ 2021年3月31日
女性係長職の人数を2019年3月比20% 増加する	5.0%	2019年4月1日~ 2021年3月31日

会社情報

会社概要

2021年9月30日現在

商号 アイフル株式会社(AIFUL CORPORATION)

本社所在地 京都市下京区烏丸通五条上る高砂町381-1

創業 1967年(昭和42年)4月

設立 1978年(昭和53年)2月

資本金 940億28百万円

代表者 代表取締役社長 福田 光秀

社員数 2,136名(連結)

店舗数 854店(有人20・無人834)

ホームページ <https://www.aiful.co.jp/>

アイフルグループ一覧



・無担保ローン ・事業者ローン ・信用保証



・クレジット ・信用保証



・事業者ローン ・有担保ローン



AG 債権回収

・サーピサー ・企業再生



AG Capital

・ベンチャーキャピタル



・クレジット



・企業再生



アイフル
ストックセンター

・倉庫・文書管理代行



・クレジットカード



・後払い決済



・家賃債務保証



・無担保ローン



・中古車オートローン



・診療報酬等担保ローン



・貸付型クラウドファンディング

沿革

1967年	4月	現会長福田吉孝が個人経営の消費者金融業を創業。
1978年	2月	株式会社丸高（現アイフル株式会社）を京都市に設立。
1982年	5月	株式会社丸高が関連会社3社を吸収合併し、 商号を「アイフル株式会社」に変更。
1984年	2月	ATM稼働開始。
1985年	3月	第1次スコアリングシステム（自動与信システム）導入。
1994年	11月	ハートフルセンター（現コンタクトセンター）の開設。
1995年	3月	自動契約受付機「お自動さん」を設置。
1997年	7月	日本証券業協会に株式を店頭登録。
2000年	3月	東京証券取引所市場第一部に指定。
2001年	1月	ビジネクスト株式会社（現アイフルビジネスファイナンス株式会社）を設立。
2001年	3月	株式会社ライフの完全子会社化。
2001年	11月	アストライ債権回収株式会社 （現AG債権回収株式会社）を設立。
2004年	3月	国際キャピタル株式会社（現AGキャピタル）の完全子会社化。
2007年	4月	新経営理念を発表。 「誠実な企業活動を通じて、社会より支持を得る」
2011年	7月	グループ再編を実施。
2014年	1月	ライフギャランティー株式会社（現アイフルギャランティー株式会社）が割賦保証業務を開始。
2014年	12月	タイに合併会社 「AIRA & AIFUL Public Company Limited」(A&A)を設立。
2015年	10月	A&Aが「A Money」ブランドでタイでの消費者金融業を開始。
2015年	11月	グループ会社のあんしん保証株式会社が東証マザーズへ上場。
2017年	4月	創業50周年を迎える。
2017年	5月	インドネシアで中古車オートローンを取り扱う REKSA FINANCEの株式40%を取得。
2018年	4月	企業の事業再生を行うアストライパートナーズ株式会社 （現アイフルパートナーズ株式会社）を設立。
2019年	3月	グループ会社のあんしん保証株式会社が持分法適用会社へ。
2019年	4月	全国に展開するアイフルの有人店舗をアイフルグループの 商材を販売する法人営業組織へ移行。
2020年	6月	後払い決済事業を行うAGミライバライ株式会社を設立。
2020年	7月	グループ会社5社の商号を変更。
2021年	7月	診療報酬等担保ローン事業を行うAGメディカル株式会社が 事業を開始。
2021年	9月	貸付型クラウドファンディング事業を行う AGクラウドファンディング株式会社が事業を開始。

株主情報

株式構成

(2021年9月30日現在)

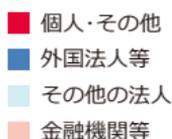
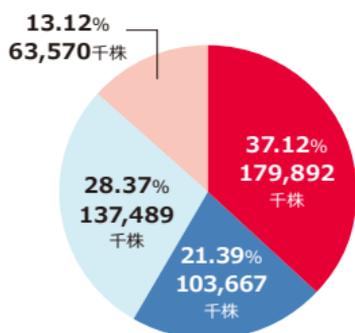
発行可能株式総数	1,136,280,000株
発行済み株式の総数	484,620,136株
株主数	25,729名

大株主

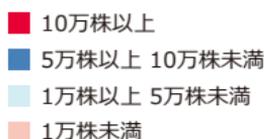
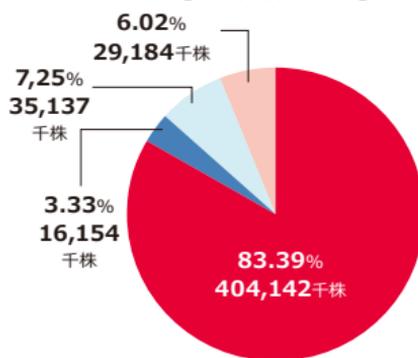
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社AMG (福田吉孝一族の資産管理会社)	94,814	19.56
福田 光秀	62,155	12.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	36,711	7.58
株式会社丸高 (福田吉孝一族の資産管理会社)	24,543	5.06
JP MORGAN CHASE BANK 385632	18,449	3.81
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	13,381	2.76
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	11,733	2.42
MSIP CLIENT SECURITIES	10,049	2.07
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	9,916	2.05
株式会社SBI証券	4,396	0.91

株式分布図

[所有者別]



[所有株数別]



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031

インターネットホームページURL

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

単元株式数 100株

公告方法 電子公告

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

銘柄コード 8515

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

アイフルグループのホームページでは、会社情報、サービス内容、IR情報など最新の情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



アイフルIRウェブサイト
<https://www.ir-aiful.com/>

アイフル株式会社
<https://www.aiful.co.jp/>

ライフカード株式会社
●クレジットカード・法人カード
<https://www.lifecard.co.jp/>
●プリペイドカード V-Preca
<https://vpc.lifecard.co.jp/>

